

新年のごあいさつ

上市長 山本 幸靖

「新しいワクワク」が生まれ続けるまちへー。

市民のみなさん、あけましておめでとうございませう。健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、天候不順による農作物の収穫量の低下や農業用水の不足、さらに物価高や資源高、後継者不足などの困難に直面しながらも、「チームかみのやま」で一歩ずつ前に進



んできました。

教育では、県内初となる学びの多様化学校「上山きり学園」が開校し、既存の学校に行きづらさを感じている児童生徒が、自分らしく学び、活動する様子がうかがえました。

まちづくりでは、市民や関係団体が企画したイベントが多数開催されました。駅西エリアには新店舗が

オープンし、駅東エリアでは「公園住宅イッテ」の工事が始まるなど、かみのやま温泉駅を中心とするまちづくりが前進しています。また、まちづくりの専門家を招いたトークイベント（次ページ参照）も開催し、上山のまちづくりの現在地とこれから目指す姿を市民のみなさんと共有しました。

さらに、観光では、市観光物産協会が、「登録DMO」に認定されるなど、民間を中心とした観光振興の新たな動きが見え始めています。

令和8年は、昨年に引き続き、これからの上山の発展に必要な「教育」「健康」「まちづくり」を中心に力を注いでいきます。

教育では、学びの環境の充実を目指し、県内初となる、フルクラウドの教育

DX環境の運用を開始します。校務系・学習系のシステムを統合して業務の効率化を図り、教員が児童生徒と向き合う時間を増やすことで、一人ひとりに合った質の高い教育を提供します。

健康では、全ての市民がいつまでも健康でいられるよう、健康寿命の延伸を目指して、各種政策を展開します。昨年、みなさんの熱心な取組で「健康寿命を伸ばそう！アワード」スポーツ庁長官賞を受賞した「かみのやま健康ポイント事業」のさらなる拡大や、病気や介護を未然に防ぐアプローチの充実などに努めます。

まちづくりについて、駅西エリアでは、歩きたくなるまちを目指し、まちの再生に向けた整備を進め、駅東エリアでは、「公園住宅

イッテ」の分譲がいよいよ始まります。全国で類を見ない官民連携による公園と住宅地が一体となった新しいまちづくりを進め、人々が「いつてみよう」と思えるような立ち寄りやすい魅力のあるまちにしていきます。

また、地域活性化とさらなる雇用創出のため、かみのやま温泉インター産業団地第2区域では令和8年度の完成に向けて整備を進めていきます。そして、貴重な地域資源である「かみのやま温泉」については、喫緊の課題であった配湯管更新事業を支援することで、温泉観光地域の文化を守り伝えていきます。

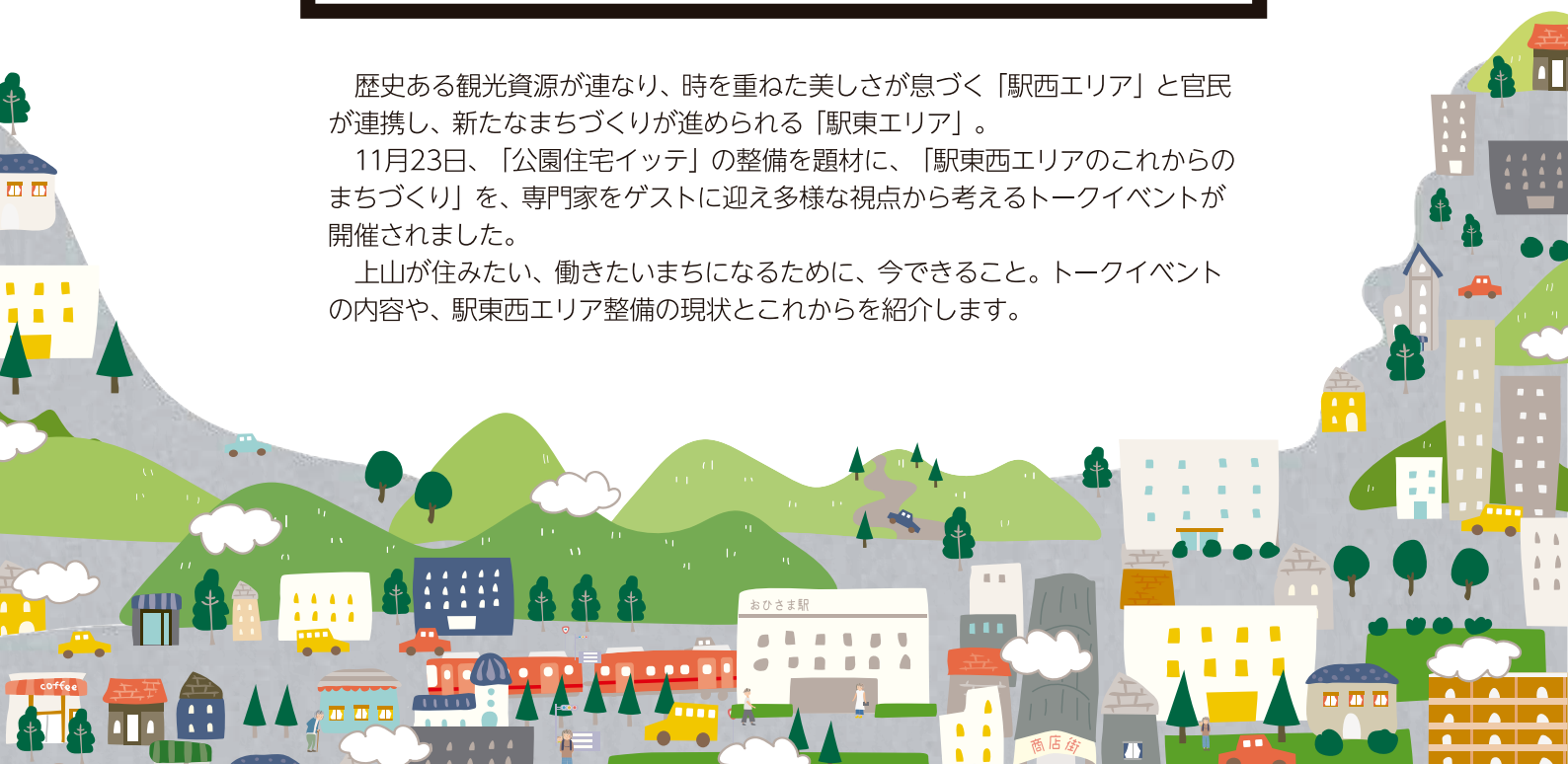
市民総世代が、「自分ごと」として取り組むことでまちづくりは前進します。新しいワクワクが次々に生まれるまちと一緒に作りあげていきましょう！

考えよう
暮らしのかたち、
まちのかたち
賑わいが
生まれ続けるまちへ

歴史ある観光資源が連なり、時を重ねた美しさが息づく「駅西エリア」と官民が連携し、新たなまちづくりが進められる「駅東エリア」。

11月23日、「公園住宅イッテ」の整備を題材に、「駅東西エリアのこれからのまちづくり」を、専門家をゲストに迎え多様な視点から考えるトークイベントが開催されました。

上山が住みたい、働きたいまちになるために、今できること。トークイベントの内容や、駅東西エリア整備の現状とこれからを紹介します。



「かみのやま温泉駅周辺事業」は、令和7年度～11年度までの5年間にわたる一大プロジェクトで、これまで多くのみなさんとワークショップを重ねながら進めてきました。

この駅周辺整備への期待は、平成23年度～27年度に進められた「上山城周辺の都市再生整備計画事業」において、駅周辺とのさらなる連携強化が求められた課題でもありました。

駅西エリアは、歴史・文化・観光・商業を活かした回遊性を高める整備を進めています。一方、駅東エリアは、居心地がよく生活の利便性を高める整備を進めており、住宅と公園が結びつく「公園住宅イッテ」はその象徴的な事業です。そして、この特色ある東西エリアを結び円滑な移動や交流を生み出すために、かみのやま温泉駅である「アビヤント・K」の環境整備を進めることとしています。

11月23日には、山本幸靖市長ほか、まちづくりやコミュニティデザイン、地域ブランドイングの有識者を迎えて、トークイベント「駅東西エリアの未来」が開かれ、市民など120人が参加しました。東西エリアを結び付けた持続可能なまちづくりのポイントや取組について意見が交わされ、「施設に頼らない価値が生まれるまち」「住みたい、働きたいまち」と思われることが大切と示されました。さらに、両エリアの魅力を感じながら、住民と来訪者や住民同士が交流することこそ、その思いは育まれるとも提言されました。東北芸術工科大学の馬場教授は、「全国でも先駆けとなる『公園化する都市』として、その発展が楽しみ」と期待を寄せていました。

駅西×駅東で生まれる 相乗効果で魅力アップ

トークイベントで山本市長は、「歴史・文化・産業が息づいてきた駅西エリアと、『公園住宅イッテ』を拠点として居心地が良く生活利便性の高い駅東エリアを結び、その魅力を『楽しみ合う』ことは、相乗効果を生み出しエリアの魅力を高め合います」と語りました。さらに、「駅を挟んで特色の異なるエリアが隣接し、住民だけではなく観光客も共存できる風土・文化をもつ『かみのやま』だからこそ実現できる」と続け、「みなさんが暮らしを営みながら、自分のまちを楽しみ、人との交流を楽しみ、そして素晴らしい上山を発信していくことが、持続可能なまちづくりにつながります！」と訴えました。



「住みたい」「働きたい」と思われるには、住民の**プロモーション**が**重要**。市外の人から共感を得ることで、まちの良さが伝わる！

西村 浩さん
ワークヴィジョンズ代表
公園住宅イッテ設計者
全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組み、「まち」と「そこで暮らす人々」の豊かで楽しい日常づくりを実践している。



長続きする賑わいづくりの秘訣は、「好きだから」、「やってみてほしい！」という思いを大切にすることです

山崎 亮さん
studio-L代表
コミュニティデザイナー
住民同士のつながりを大切に、地域コミュニティが持つ課題解決力の向上を支える。

駅東西エリアの特長を結び活性化へ

「かみのやま温泉駅周辺事業」は、令和7年度～11年度までの5年間にわたる一大プロジェクトで、これまで多くのみなさんとワークショップを重ねながら進めてきました。

この駅周辺整備への期待は、平成23年度～27年度に進められた「上山城周辺の都市再生整備計画事業」において、駅周辺とのさらなる連携強化が求められた課題でもありました。

駅西エリアは、歴史・文化・観光・商業を活かした回遊性を高める整備を進めています。一方、駅東エリアは、居心地がよく生活の利便性を高める整備を進めており、住宅と公園が結びつく「公園住宅イッテ」はその象徴的な事業です。そして、この特色ある東西エリアを結び円滑な移動や交流を生み出すために、かみのやま温泉駅である「アビヤント・K」の環境整備を進めることとしています。

11月23日には、山本幸靖市長ほか、まちづくりやコミュニティデザイン、地域ブランドイングの有識者を迎えて、トークイベント「駅東西エリアの未来」が開かれ、市民など120人が参加しました。東西エリアを結び付けた持続可能なまちづくりのポイントや取組について意見が交わされ、「施設に頼らない価値が生まれるまち」「住みたい、働きたいまち」と思われることが大切と示されました。さらに、両エリアの魅力を感じながら、住民と来訪者や住民同士が交流することこそ、その思いは育まれるとも提言されました。東北芸術工科大学の馬場教授は、「全国でも先駆けとなる『公園化する都市』として、その発展が楽しみ」と期待を寄せていました。



市外からは、地域のみなさんが日常で行っていることや、食べているものに魅力を感じます

柿原優紀さん
たらくさ代表
ローカルツーリズムプロデューサー
地域に根づく制作会社として、たらくさ株式会社を設立。その土地ならではの文化の再発見と再定義による地域ブランディングを提案する。



「分譲」の公園住宅は**今までにない取組！「賃貸」とは違い、住民同士の関係がより深いものになる**

馬場正尊さん
Open A 代表
東北芸術工科大学教授
山形市のクリエイティブ産業の拠点となる複合施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」の設計・運営を担う。

駅東西エリア整備のこれから

「かみのやま温泉駅周辺整備事業」は、若者・子育て世代などから選ばれる魅力あるまち、歩きたくなるまちを目標として、令和7年度から整備工事がスタートしました。少しずつ、着実に、賑わいの生まれ続ける上山に向かって前進しています。

〈 駅東エリア 〉 「公園住宅イッテ」を核とした 持続可能な賑わいへ

- **公共事業**
令和7年度～
用地買収、道路・公園緑道整備の着手
令和9年度
道路・公園緑道整備の完了

- **民間事業**
令和7年度～
宅地分譲・整備（56区画）

〈 駅西エリア 〉 市民や観光客が 歩きたくなるまちへ

- 令和8年度～
八日町ポケットパーク再整備、前川河岸通り線および南町二日町線の美装化、月岡公園の再整備など



▲南町二日町線整備イメージ

〈 アビヤント・K 〉 駅を東西エリアの架け橋へ

- 令和7年度
東駐輪場改修
令和9年度～
西駐輪場改修、階段改修、落雪対策歩廊、トイレ改修、東西エレベーター設置、自由通路内装など



TOPIC 市民のやってみたいや魅力との出会いを後押し！

駅東西エリアの整備を進めながら、両エリアが輝くための取組が始まっています。



駅東エリアに交流の核を！ 持続できる賑わいづくり

ENJOY! ナリワイ部かみのやま
自分の趣味や、やってみたいことを「ナリワイ（小商い）」として小さくはじめ、子育ても仕事も両立できる新しいライフスタイルを促進する取組



かみのやま若者つながりナイト
地域づくりに興味のある若者同士が集い、アイデアの実現を目指して活動中

パークピクニックトライアル
新たに整備される公園・緑道などの公共空間で「こんな過ごし方がしたい!」「こんな活動をやってみたい!」を企画・実施する社会実験

歩きたくなる駅西エリアに！ まちの魅力再発見



まちのよりみち

上山城周辺の空き地や広場、空き店舗などを活用した社会実験。上山の「米どころ」をめぐる街歩きや、武家屋敷通りを歩行者天国にする取組で、まちの魅力を見つめ直すきっかけに